



家で死ぬ
ということ

あなたはどこで、
どのように
死にたいですか？

山崎章郎著
海竜社 1400円
+税

『病院で死ぬということ』から22年！
今、在宅ホスピス医の現場に身を投じた著者が問かける、生きるということ、病むということ、死ぬということ。

ホスピス医を生きる

僕たちの希望、新ホスピス、静かに進水
あの世からサインを送ります
死の床での日常を支える好きなこと
ホスピスに行きたい、でも真実は知りたくない
最後の日まで、自分の存在の意味を問い続けるために

第2部 在宅医を生きる

在宅の患者を診る医者として生きる
ホスピスケアが本当に必要な時期
ホスピスケアは全ての終末期の患者に必要
自立と尊厳を守るためには
ホスピスケアと在宅ケアの融合を目指して